



令和5年度がスタートしました。始業式・入園式を終え、年少組は、30分ずつ保育時間を伸ばし、無理なく幼稚園の楽しさを味わえるようにしています。「今日は、砂場で遊びたい!」「今日は滑り台をやる!」「今日はブランコ!」と毎日の遊びにわくわく感が止まらない様子があります。また「幼稚園って楽しいね!」とまだ名前も覚えていない友達と顔を見合わせ微笑む可愛らしい姿も見られます。年長児も、大きな期待と大なり小なりの緊張はありますが。年少児への関わりや当番活動も始まり、徐々に緊張もほぐれ、好きな遊びに進んで取り組んでいるようです。

これからも「元気・笑顔があふれる学びの多い矢作幼稚園を目指します!」

**年少組  
戸外で遊ぶの  
楽しいな!**



入園当初の1週間は、戸外の藤棚で受け入れ、出席確認のための名前を一人一人呼んで、健康観察をします。元気に挨拶をする子が多くみられ、「早く遊びたい!」といういろいろな遊具に興味津々の様子。戸外での受け入れは年少さんにとっては開放的で、新しい環境への抵抗もなく入り込んでいけるようで、どの子も笑顔で登園し、戸外での遊びを楽しんでいます。

帰りの集まりでは、大型絵本を読んだり、楽しい手遊びや歌を歌ったりして、「また明日ね~!」と翌日への期待を膨らませて帰ります。

**お話楽しいな!**





**年長組 戸外遊び・  
室内遊び**



年長児は、昨年の経験から好きな遊びを選び進んで取り組む様子があります。戸外ではサッカー、中当て構成遊びや色水遊びを楽しみ、登り棒に挑戦する子もいます。また戸外・室内共に製作は大好きな遊びの一つで「わたあめをつくりたい!」「家をつくりたい!」など友達に刺激を受け、一緒につくったり、新しいアイデアが出てきたりし、盛り上がっています。カプラ（積み木）では、並べてドミノ倒しをしたり、高く積んだりと工夫して遊ぶ姿がありました。また、昨年植えたタマネギの水やりも年長児として自覚をもって忘れずに行い、生長の変化に気付き収穫を楽しみにしています。



**一緒に遊ぶの  
楽しいね!**

戸外では、年長さんと年少さんの自然な関わりも見られます。年長さんが出し始めた構成遊びの道具と一緒に準備して遊び始めました。十分な時間遊ぶと、今度はみんなで力を合わせて片付け始めました。年長さんがお手本となり、年少さんが見て真似て行う姿がありました。異年齢の関わりの大切さを感じました。





お兄さん・お姉さん  
にいました！

「園服はね、こうやって開いて、袖と袖をこんにちは～ってやるんだよ！」と年少さんに優しく教えてあげる姿が見られます。昨年の年長さんにしてもらって嬉しかったことを実践しているようです。



## 幼年消防クラブ任命式

幼年消防任命式を行いました。「今日から矢作幼稚園のみんなは、幼年消防クラブの一員です。火事を起こさないように気を付けましょう！」と話しました。

**防火のちかい**をみんなで唱えました。

- ①ぜったいにひあそびはしません
- ②ぼうかのわをひろげます
- ③かじのないあかいまちをつくります  
みんなで守っていきましょう。



保護者の皆様にも出席いただき、交通教室を行いました。保護者向けの話には、4月より、自転車に乗る際のヘルメット着用（努力義務）についてや交通ルールの再確認等の話を聞かせてもらいました。また、子どもたちは、道路の歩き方や、横断歩道を渡るときの約束等を教えてもらい、園庭で実際の道路を想定して実践しました。教えてもらったことを忘れずに事故に会わないようにしましょう！

## 交通教室





## 避難訓練

幼稚園では、年間の中で火災・地震・津波・台風などの災害時に園児の生命の安全確保を図ることを目的とし、園児が安全に行動できるように訓練を行います。今回は、台所からの火災を想定した訓練で、実際に火災報知器を鳴らし、年少児は防災クッションを被り、テラスまで。年長児は正門付近まで避難しました。火災ということで、マスクをしたり、その上からハンカチで口を覆ったりして煙を吸い込まないようにして避難しました。年少児は初回なので、防災クッションを被ることと年長児の避難の様子を見て学びました。次回は実際に避難できるように段階をふみます。園長から、訓練の振り返りと大切な約束（お・か・し・も・な）の話を聞き、各クラスで命を守る行動ができたのか振り返りをして訓練の大切さについて学びました。



## 藤棚の剪定 “緑樹会 深沢さん”

幼稚園の園庭には、立派な藤棚があり、日陰ができたり、見る人の心を癒してくれたりしています。今年度が始まり、気候の良い日が続いていたこともあって、藤の枝がわさわさと茂り、今にも地面につきそうな勢いでした。毎年、幼稚園の藤棚を気にかけてくださっている“深沢さん”が今年も剪定に来てくださいました。脚立の上に乗って、手際よく伐採してくれました。その枝の量はトラックに乗り切れない程でした。剪定が終わると、きれいな薄紫の藤の花が顔をだし、立派な姿を見せてくれました。ひとしきり私たちの心を癒してくれると、花も見頃を終え、また来年、花がきれいに咲くように手入れ（作業）をしてもらえるそうです。本当にありがとうございます。



ビフォー



アフター